

健康を保つ生活法

講師 長町 幸雄

司会 鈴木 幸雄

1 健やかに老いる

「健やかに老いる」これは万人共通の願いである。健康であるためには、日常生活の中で、正しい食生活や習慣を身につけて実行するということが全てであるが、習慣つけて実行するという事は、いうほど簡単ではない。高齢化社会の中で、生命を維持し続け、未来に向け健やかに老いるための人生設計においては、個人の力だけでなく、社会的な保健事業や医療事業が同時並行的に行われる必要がある。

2 ガンにならないための生活

高齢化で生命を脅かす疾病はガンである。換言すれば、ガンで亡くなるということは長生きの証拠ともいえる。天寿ガン(超高齢化のガン)といわれるものがあるが、こんな死に方が理想だと見る学者もある。

3 健康とは何か

健康を定義すれば『個人が最も効果的に働いて、生活上最高の満足感に浸ることのできる、精神的・肉体的状態を健康という』

社会の大多数の人ができることができなかったり、どことなく調子が悪い、元気がない、仕事に打ち込めない人は不健康、または半健康という。健康と不健康の境界の判定は難しく、だれにも決められない。健康だと思っている人も、早期ガン等の存在が分かれば、健康から不健康へと判定が逆転する。口では簡単に健康的な生活を身につけようというが、日本人の死亡原因の70%は、生活習慣病であり、若い頃からの日常生活の蓄積が引き金になっている。

4 健康生活の基本

快食・快眠・快便・運動と休養の4つが健康生活の基本である。

- ①100才以上の長寿者の食生活調査からも、規則正しく、好き嫌い無く、腹八分目が長寿の秘訣。
- ②睡眠は疲労回復に欠かせないものであり、充分にとること。
- ③自分の目で見て健康度の判定ができる。眼の裏側の色・舌に苔の有無・便の色や回数。一日一回の排便は必要。便通手帳をかくことを勧める。
- ④心臓病・糖尿病などは運動不足が原因のことが多い。まとめて運動することはできないばかりか、害になることも。こまめに体を動かすこと。1日6km・1万歩を目安に歩く。動かずに座っているのが最悪。疲れの自覚は、体の機能調節が必要なとき、無理せず素直に休養をとること。覚醒剤や薬物依存は不可。ストレス解消には休養するのが良く、好きなスポーツや趣味に心を向ける方が良い。

5 健康チェック

セルフチェックが病気の早期発見に役立つ。自分で分かりにくい場合は友人などから注意を受けるとよい。食べられるが痩せてきた、食欲なく痩せてきた、逆に太ってきた、頭痛がして手足が痺れる、喉が乾いて手足が痺れるなどは危ないサインだ。

6 ガンの疫学上の問題

1980年代に日本人の死亡順位に変化が起こってきた。1位がガンであることに変わりはないが、全体として胃ガンが減り、大腸ガンが増加してきた。食生活の欧米化によりガンの順位が変化してきたものと考えられる。環境因子で発ガンするが、たばこはガンの原因として重要だ。遺伝物質の突然変異を起こさせるものに、食品添加物・医薬品・排気ガス等がある。微の出す毒素にも気をつけること。

ガンは遺伝しない。家系集積型はあるようだ。それだけで健康になれる食品は無い。特定の栄養素の

みに偏らず、5大栄養素をバランス良く取ること。

【スライドによる説明】

- ・ガンの部位別発生率 ・性別によるガンの種類 ・摘出された胃ガン ・たばこと胃ガンの関係
- ・活性酸素を発生させる危険因子 ・活性酸素を不活性化させる物質 ・胃ガンと酒

以降、スライドプロジェクター不調のためスライドによる説明打ち切り、その後話題を変え、野菜の食べ合わせや、女性が長命である原因についてユーモアをまじえて話され終了した。

(記録 鈴木 幸雄)

(抄録 長町 幸雄)

講師

群馬大学名誉教授 医学博士

映画作りの楽しさ苦しさ

講師 黒沢 満
司会 平原 俊彦

1 日本の映画界の状況

はじめに、日本の映画界の状況をお話したい。

八王子を例にとると、過去、八王子には7~8館の映画館があったが、現在は2館のみである。最盛期に比べてすっかり衰退してしまった。最盛期には、良質の映画を上映する映画館もあり、中でも「八王子シネマ」は芸術性の高い映画を上映していたのが印象に残っている。

日本の映画の最盛期は昭和33年で、その観客数は11億2500万人であった。つまり1人1か月に1回の割合で映画を見ていたことになる。以降、映画は次第に斜陽化し、平成8年が最も落ち込んだ時で、観客数も1億1900万人になってしまった。映画館も1700館まで減ってしまった。最近少し回復し、映画館も20館にまで回復している。

配収についてふれてみると、平成10年度は、映画950本で、870億円の収入があった。その内訳は、邦画270億円、洋画600億円となっている。代表的なものは、洋画では『タイタニック』が160億円で、10億円以上の配収のあったものは14本、420億円、邦画で10億円以上の配収のものは9本で、179億円、合計23本で約600億円となる。邦画の平均配収は6000万円で、損益ぎりぎりの厳しい状態である。このような状況から、継続的に映画を製作、配給できる映画会社は、日本では東宝、東映の2社に絞られる。

2 映画の製作について

①映画プロデューサーの役割

企画から、上映までの全体をコントロールし、映画をまとめる。また配給の計画まで立ち入る。

②映画のテーマはどのようにしてまとめるか

- ・オリジナルに創作する
- ・現実の事件の中から、社会的テーマ性をもたせて作る。
- ・他人が送ってくるシナリオをもとに作る。この場合は、非常に確率が悪い。採用されるのは100本中、1~2本である。

③映画製作の流れ 『時雨の記』を例にして

この映画は、吉永小百合がほれ込み出演を希望した作品である。

企画決定後、脚本を作る、脚本家の選定の前に、監督(沢井さん)を決めた。

- ・制作費：フジテレビが応援してくれた。
- ・配給：東映から断られた。東宝系列でおこなうことになった。
- ・予算：限られた予算のため、主演俳優、吉永小百合、渡哲也二人がギャラなしで引き受けてくれ、やっと目途がついた。上映後、利益が出たら、ギャラを出すこととした。
- ・セットとロケーション：
- ・主役の選定：日本では個別折衝、米国ではオーディションで決める。

例『風と共に去りぬ』のビデオ

米国ではこのようなフィルムが、映画製作記録として残されている。

- ・撮影：監督がまとめる。プロデューサーは問題が起きた時のみ出番となる。
- ・仕上げ：編集と音をつける。プロデューサーの出番となる。編集の内容について、監督とプロデューサーの間で議論になった方がよい作品となる。音楽も重要な要因である。

- ・配給：フィルムに作成後、配給となる。

『時雨の記』では吉永小百合自身が、キャンペーンをしてくれた。その効果もあり、配収は予想以上にのびている。しかし、まだギャラを払うまでには至っていない。

(記録)

講師

映画プロデューサー

『時雨の記』他

華麗なる宝塚

講師 清水 英雄

司会 平原 俊彦

私と宝塚とのきっかけは全集LP15枚組、350冊を製作したことから始まる。その昭和46年までの内容にもとづき、宝塚全盛期を振り返ってみたい。

(初めに「オータカラヅカ」「パリゼット」のレコードを流しながら説明に入った)

宝塚の誕生については、明治43年(1910年)梅田-宝塚間に箕面有馬鉄道(現在の阪急線)開通し、乗客の増加対策として宝塚新温泉という遊園地を開業した。更に翌年「パラダイス」と名付けた温水プールをもったモダンな建物が建設された。その中のプールは当時男女一緒に泳ぐ事は禁止されていたという話がある。

小林一三氏の案でその建物は劇場に改造され、アトラクションとして「宝塚唱歌隊」が出演した。

大正3年、団員16人で「ドンブラコ」他初公演、その後年4回春夏秋冬に開催、その間大阪、神戸でも上演され、大変人気を博した。大正7年団員も40~50人となり、帝国劇場で公演し、東京への進出のきっかけをつかった。当時の出し物は歌舞伎、民話、神話などをテーマとした日本物が多く、曲はオリジナルなものであった。

(ここでその頃の作品、「ドレファミド・レソソ」(歌手小倉みゆき、雲井浪子、関谷須磨子他)を聴く)

大正15年、岩田辰弥氏は欧米に留学し「見聞録」をレビューにしたものが「モンパリ」である。パリでは、1年間の出来事を暮れの12月にまとめてショーアップして見せる「レビュー」(再び見せる)という形式のステージがミュージックホールなどで盛んだった。それを取り入れて大劇場狭しとくり広げて演出、大評判を得た。

「モンパリ」の振付を担当した白井鉄造氏はごほうびに欧米に留学、帰朝報告作品20景「パリゼット」の演出を担当し、成功させた。本格的レビューとなった「パリゼット」「オータカラヅカ」「すみれの花咲く頃」の曲が大ヒットを納めた。

第一期黄金時代、昭和14~15年に始まった戦争の影響で欧米の音楽が歓迎されなくなり、使われる曲も変わって来た。「セニョリータ」「ローズ・パリ」「ブーケダムール」など白井鉄造氏などの傑作が続いたが、やがて戦争も激しさを増し、昭和19年宝塚大劇場、東京宝塚ともに閉鎖された。大劇場は海軍訓練所、東京宝塚は風船爆弾の工場となった。

これら黄金時代のスターたちは大正時代、天津乙女、雲野かよ子、小夜湯子、橘薫、三浦時子。昭和に入ってから、佐保美代子、芦原邦子、春日野八千代、霧立のぼる、久美京子、轟夕起子、春川ますみ、月丘夢路等。

戦後、宝塚大劇場は米軍の兵舎となったが、慰問劇を大劇場で行ったところ兵隊に感動を与え、隊長の主張で劇場が東京、宝塚とも日本に返還され、東京宝塚はアーニーパイル劇場として再開した。

戦後の黄金時代のスターたちは、乙羽信子、越路吹雪、淡島千景、久慈あさみ、南悠子、新珠三千代、等。

(この中より「タヒチの歌」「峠の我家」「懐しのアリゾナ」「花を召ませ」の曲を聴く)

第2期黄金時代のスターたちより、大スターたちが映画界へ去った後、入団した人たちの活躍が始まる。宇治かほる、高千穂ひづる、南風洋子、鳳八千代、朝丘雪路、那智わたる、浜木綿子、扇千景等。

(テープにより有馬稲子、南風洋子の「いっまでも」の曲、コンちゃんの愛称で知られる上月晃の「ワンボーイ」、浜木綿子の「サヨナラ皆様」を歌う声を聴く)

(記録)

講師

音楽プロデューサー

『宝塚歌劇大全集』、他

アメリカ・この不思議な国

講師 田子 稔
司会 平原 俊彦

1 アメリカの歴史

移民による庶民地の建設と独立。そして南北戦争後、統一国家を築いた。

1620年：17世紀、当時英国はローマ・カトリックの力が強く、その迫害を受けたプロテスタント(ピューリタン)102名が、メイフラワー号で渡米、プリマス植民地を建設した。これが現在のアメリカの第一歩となる。以降各地に植民地が出来た。

1775年：独立戦争勃発、イギリスからの独立の為の戦争。この独立革命により、各地の植民地がそれぞれ独立した州となった。

1861年：南北戦争勃発(～1865年) 奴隷解放、民主主義を確立するための戦争であった。

2 多民族からなる大国

人口は日本の約2倍で、欧州を中心とした国の多民族国家である。アイルランド系民族が多いのは、同国の芋飢饉で、人口の約半分が渡米したことによる。

宗教の人口構成は、プロテスタント系住民が過半数を占める。次いでアイルランド系のカトリック教徒。

①面積 積：963K m² (日本の面積 38 万 K m²の約 25 倍)

②人口：2億4千970万人

③人口構成：ドイツ系 58 百万人(23%)、アイルランド系 39 百万人(16%)、イギリス系 33 百万人(13%)
黒人 24 百万人(10%)、イタリア系 15 百万人(6%)、メキシコ系 12 百万人(5%)
フランス系 10 百万人(4%)、ポーランド系 9 百万人(4%)、その他 50 百万人(20%)

④宗教の人口構成：キリスト教 84.9% (プロテスタント系 57.1%、カトリック系 25%、東方正教会系 2.8%)
ユダヤ教 19%、イスラム教 0.3%、仏教 0.2%、ヒンズー教 0.1%、その他 12.6%

3 政治体制

大統領制および州による連邦制をしく。

[州は国家なり]

一般行政は州でおこなわれる。州には連邦と同様、上院・下院があり、両議員はもとより、州知事以下の行政の長をすべて選挙で選ぶ。連邦政府には最低限の権限(外交、国防、通貨、郵便等)しかない。

[連邦政府]

議員は二院制。行政と立法の完全分離。大統領をはじめ内閣は法案の提出は出来ない。専ら議員立法。逆に議員は内閣に入れない。

4 経済

GDP 8兆1千億ドル(日本は2兆8千億ドル 1996年)

一人当たりGDP \$ 28,600(日本は\$ 22,700)

米国は以上の様な歴史と環境とから日本と対比される国民性を身につけた。

(記録)

講師

元・日本航空参与

日米比較メモ

日本人	アメリカ人
儒教思想による階級的タテ社会	ピューリタン・プロテスタント思想によるヨコ社会
「空」や「無」を中心とする仏教思想	唯一絶対神を宇宙の創造主とするキリスト教
伝統的閉鎖社会で安定を求める	革新的開放社会で変化を求める
和を尊重し相互依存で対立を避ける農耕社会民族	対立を進歩のエネルギーとする強い個の主張の狩猟民族
一般的な事柄から段々特定の小さなことに絞る	身近な小さな事柄から一般的な事柄に移っていく
会社の長期的な存続を第一としその為の集団の事業遂行に自己を調整し協議を図りパイを分け合う	会社と自分との契約に基き自己のプロとしての技能・知識・経験を提供しその対価を得る
職務と職位がハッキリしないことが多く慣例で仕事が行われ個人の責任は曖昧な事が多い	職務と職位が文書(ジョブ・ディスクリプション)で明確にされているがマニュアルに無い物は応用動作が出来ない
要素の多い複線型思考が得意だが行動が遅い	感覚的な把握と物言いが巧み、単線型思考で行動力あり
内向的で喜怒哀楽を表面に出さず意思伝達が下手	コミュニケーション上手で演出・表現・発表能力が秀でる
平均点主義でオールラウンド型、慎重な思考を好む	優れた点を伸ばす事を重視する積極的思考
反対意見は自分の尊厳と知性に対する攻撃と解釈	激しくぶつかりあった後(抑制と均衡)を図る
独断先行せず常に報告し指示をうけながら上司や同僚と歩調を合わせチームワークを優先させる	目的思考が強く即断即決で自己の主張を貫き、結果第一主義の強い実行力
肩書尊重で上下意識が強い儒教的社会	神の前には万人が平等というピューリタン社会
八百万の神や仏教・儒教の混在した所謂「日本教」で自然と同化し共生するという一元的世界観	キリスト教では神は唯一の絶対的存在であり異質なものと対立的な物の存在を一切許さないという厳格さ
以心伝心・根回し・腹芸が通用する単一民族社会	明解で積極的で攻撃的となる異文化・多民族社会
相手の心を察する力が強い為あまり議論を好まぬ	相手の心を察する力が弱く議論を重ねた上相手を理解
仏教では阿弥陀さんの慈悲は償いが不要で罪業も煩惱もその身のままで飛び込んでこいという	キリスト教では総てを対抗的にみて苦難と戦い血に洗われ悔い改めてこいと言う
古代以来の文化が累積した後に法秩序ができた	建国の始めに法秩序が確立されあとで移民が来た
単一民族で人口密度が高い為人間関係の円滑化を重視し腰が低く自己主張が少ない	言語・宗教・信条・生活習慣を異にする多民族国家であり自己主張を貫かないと相互の意志疎通ができない
山紫水明の豊かな自然に囲まれ相互依存ともたれ合いにより安定と静寂を好む	過酷な自然との闘いや財産を自力で守りながら力で開拓を進めた弱肉強食の個人主義
社会は個人に優先し個人の権利意識は薄く面子を保つことや合意を重要視し対決を避けながら長期的な社会の繁栄と安定を求める	自由・平等・民主主義・個人主義を重視し政府への依存度が少なく権威に抵抗し競争を奨励し人権を尊重し現在の利益の追求に全力をあげる

音楽で楽しむ歌舞伎の魅力

講師 景山 正隆

司会 平原 俊彦

歌舞伎は音楽劇の一種で、歌舞伎特有の各種の音楽なしにはその演出は成り立たない。したがって、歌舞伎音楽が分かるかどうか、歌舞伎の面白さを左右するといってもよい。今日は、歌舞伎が音楽によって演出される芸能であるという点に話題を絞ってお話をするにしたい。

1 歌舞伎の様式について

(1) 歴史的に見た様式の変遷について

凡そ400年前の出雲の阿国による歌舞伎踊りが歌舞伎の発祥である。女歌舞伎は風俗上、治安上の問題から幕府によって禁止されるが、これを追って盛行していた若衆歌舞伎も、同様の理由で禁止された。

しかし、若衆歌舞伎は生きる道を見出し、野郎歌舞伎から元禄歌舞伎へと発展する。その後、江戸中期になり、人形浄瑠璃が全盛期を迎えた頃、歌舞伎は沈滞していた。それまで歌舞伎では、人形浄瑠璃の音楽である義太夫節を用いることはなかったが、打開策として、積極的に人形浄瑠璃を歌舞伎化して義太夫節を用いるようになった。義太夫狂言というそれまでの歌舞伎にはなかった新しい様式が成立したのである。

現代の歌舞伎は、当時の義太夫狂言の成立によって新たに生れた技法が基礎となっていると考えられる。新しい技法と様式が生まれる一方、古くからの技法や様式が失われる一面もあって、歌舞伎の様式は多様化しながら変容を遂げてきたのである。現在の歌舞伎は、幕末から明治にかけての頃の歌舞伎を直接継承していると見る事が出来る。

(2) 現行の歌舞伎の諸様式について

①科白劇（歌舞伎は音楽劇であるが、演劇として科白が重要な位置を占めることはいままでのない）

②舞踊

③だんまり（但し、これは一様式として①②と並列するものではなく、特殊な演出の様式と見たほうがよい）

①の科白劇は、義太夫節を用いない歌舞伎オリジナルの純歌舞伎狂言と、人形浄瑠璃を歌舞伎化した義太夫節を用いる義太夫狂言に大別される。また、明治期に生まれた新歌舞伎や現代の作家の書き下ろした新作歌舞伎もある。

（ここでVTRにより純歌舞伎狂言と義太夫狂言の実例を見て両者の相違を確かめる）。

純歌舞伎狂言も義太夫狂言も、それぞれ時代物と世話物に大別される。まず純歌舞伎狂言の時代物の例として、歌舞伎十八番「助六由縁江戸桜」の助六の出端の音楽「河東節」の解説。世話物の代表として「弁天小僧」の下座音楽（合方）について解説。次に、義太夫狂言の時代物の例として「菅原伝授手習鑑」寺子屋を、世話物の例として「心中紙屋治兵衛」河庄を取り上げて、歌舞伎の義太夫節＝竹本について解説。また、歌舞伎舞踊（所作事）の代表例として「京鹿子娘道成寺」の一部を見ることにより、長唄に触れ、また、舞踊の音楽には長唄の他に清元節など各種の浄瑠璃が用いられることに言及された。

2 現行の歌舞伎音楽について

よく歌舞伎は、中国の京劇やオペラに通じるといわれるが、歌舞伎の性格はそれらとはかなり異なる。京劇は、見た目にはかなり違っていても、むしろわが国の能と共通の性格を有するといってもよい。歌舞伎が京劇と根本的に異なるのは、京劇は役者が歌うけれども、歌舞伎は役者が歌わない点である。歌舞伎のせりふは歌うような調子があっても、歌ではない。

歌舞伎の演出には様々な音楽が用いられ、基本的には古来の音楽が継承されてきてはいるが、一回性という

芸能の基本的な性格から、時の流れと共に変化をするので、歌舞伎の変容と共にその音楽もいろいろな変遷を経て今日のようになっていると考えなければならない。

現行の歌舞伎音楽は、あらゆる様式の歌舞伎に関係するものと、特定の様式に関わるものに大別される。

(1) あらゆる様式に関係する音楽＝下座音楽(歌舞伎囃子)

唄(めりやすを含む・原則として三味線の伴奏がある) ・合方(三味線のみによる) ・鳴物(能楽囃子を取り入れた四拍子の他、歌舞伎特有の打楽器・管楽器・雑楽器など50種に及ぶ)

唄・合方・鳴物は個別に演奏されることもあり、唄・合方に鳴物が打ち込まれることもある。

(2) 特定の様式に関係する音楽

①義太夫狂言の音楽…義太夫節(昔はチョボといったが現代は竹本を正式の呼称とする)

②所作事の地の音楽…長唄(鳴物を伴うことが多い)

③浄瑠璃を地とする舞踊(舞踊劇)の音楽…清元節・常磐津節・義太夫節

④歌舞伎十八番「助六由縁江戸桜」の助六の出端の河東節

3 「義経千本桜」釣瓶鮎屋の場の鑑賞

典型的な時代物の義太夫狂言である「鮎屋」を取り上げて、音楽の面から鑑賞する。

基調をなすのは義太夫節であるが、「鮎屋」は下座音楽をかなり豊富に用いて演出されるので、その実例・用法・効用などについてVTRにより解説があった。

最後に、いがみの権太の末期のせりふを、「鮎屋」のキーワードであると指摘し、一見様式的な美を追求するように思われがちな歌舞伎も、実は、人間にとって何が大切なのかを考えさせる演劇に他ならないことを強調し、歌舞伎は様式美の面からのみ鑑賞されるものではなく、何を表現しようとしているかという演劇性、文学性を見落とさないようにしたいと結んだ。

(記録)

講師

元東洋大学教授

(社) 義太夫協会会長

ガ ン に つ い て

話し手 長町 幸雄

司 会 鈴木 幸雄

「ガン」といっても多種であるため、ここでは消化器系のガンに絞って話をする。 国際的に認められているガン予防の15ヶ条というのがあるが、その主なものをあげると

- ①植物性食品を多種類とるようにする。
 - ②ゴボウ・大根・イモなどは、腸内細菌に分解されてガンを抑制する。
 - ③適正体重を維持すること。
 - ④運動をよくすること
 - ⑤アルコール類はあまり勧められない。 飲むなら適量を。
 - ⑥肉類は良くない。 欧米に大腸ガンが多い理由。 魚肉・鳥肉で。
 - ⑦食塩の摂取量を制限。(1日10g以下に)
 - ⑧新鮮な食品をとること。(すぐに食べない物は冷蔵する、長期は不可)
 - ⑨こげた食品(特に魚)は良くない。
 - ⑩たばこは禁物。
 - ⑪山菜類は多食しないこと。
 - ⑫暴飲、暴食は不可。
- 以上に当てはまるものがある場合は改めること。

日本人が米食を中心としていた時代には大腸ガンは少なかったが、食事が欧米化してきてから増加している。 バランスのよい食事を心がけること。

大腸ガンを予防するには、食物繊維を多くとることにつきるが、他に動物性脂肪を少なくし緑黄色野菜をとる。 検診の機会をのがさず受診すること。 早期ガンなら外科治療で100%近く治るのだから。

肝ガンは他のガンに比べて、原因がほぼつきとめられており早期なら治る。 ガンをやたらに怖がる必要はない。

信頼のおける医師との連携を密にすることの大切さを話された後、質疑応答に移った。 参加者から自身の体験や家族等についての真剣な質問や相談等が多数あり、話し手からその一つ一つについて適切な応答があって予定の時間が非常に短かく感じられた。

(記録 鈴木 幸雄)

(抄録 長町 幸雄)

大草原の国 モンゴル

話し手 桂 元二
司会 加藤 寛

話し手がモンゴルに興味を持ったきっかけは、印刷技術の指導のため9年前にモンゴルを訪れて、大自然やそこに暮らす人達の素朴な人情に魅せられて、交流の輪を広げようと決心した、とのことである。

1 遊牧民の家(ゲル)について

モンゴル語でゲルとは「家」の総称だから、都市部に建っている鉄筋のアパートも実はゲルなのだ。しかし私たちは通常遊牧民の住む移動式のをゲルと呼んでいる。遊牧民は、家畜に食べさせる草の有るところを求めて春、夏、秋と移動して行くが、冬は越冬のため丘の南斜面など余り風の当たらない場所に移る。従って家は解体し、運んで、組み立てるという作業を繰り返すわけだから、これらの作業が簡単に出来なくてはならないし、軽量であることが必須の条件なのだ。ゲルの材料の木材は扉などの一部を除いて、軽くて、加工しやすく、比較的丈夫な柳を使う。天窓、それを支える柱、細く削ったハンオニーと呼ばれる天井材、細い木を矢来のように組んだ伸縮自在なハンという壁材、これらを組み合わせてゲルの骨格を作る。この骨組みに分厚いフェルトをかぶせ、雨に備えてカンバスなどの布で覆って完成するが、扉の蝶番やノブなどを除いて金物はほとんど使わない。こうした組立作業も、慣れた大人なら3、4人いれば、組立も解体もそれぞれ2時間足らずでやってしまう。こういう共同作業をするために通常親類同士などが数軒寄り合いゲルの集落をつくっている。

ゲルがどのようになっているかということ、入口はどの家も必ず南南東に向いていて、中に入ると中央にストーブがおかれ、その向こう奥の北側にタンス、飾り棚などが、タンスの上には仏壇、仏壇のない家ではそこに家族の写真やその家にとって大事な勲章や記念の品などが飾ってある。ストーブの前、つまり東側を主婦の場、それに向かい合う西側が主人の席と決まっていて、それぞれ頑丈なベッドが壁側のおかれているのだが、乳離れした子供達は床に敷いた絨毯の上で寝る。ゲルの床の敷物の下にはよく乾燥した羊や山羊の糞を分厚く敷き詰めるのだが、何年もかけて乾燥したものは臭いもなく、断熱効果抜群、四季を通じて快適な温度を保つのに欠かせないものなのだ。これなどは説明を聞かなかつたら私たちは多分、そこに糞が敷き詰めてあることなど気がつかないことだろう。

2 モンゴル人と酒

モンゴル人と馬とは切っても切れない深い関係にあるが、馬乳酒もモンゴル人にとっては生活に欠かせないものなのだ。子供の時から男女を問わず、ある時は主食の代わりとして飲み続けている。アルコール分は、2~3%と大変弱いもので普通の人なら酔うというほどではない。馬は普段栄養価の高い草を食べているのだから、その母体から出す乳は人間にとって必要な栄養は十分に補給できる、というのがモンゴル人の考え方のようだ。彼らの酒の飲み方は豪快そのもの、胃袋に穴が開こうが、肝臓が潰れようが、注がれた酒は飲み干さなければ失礼になる。

3 珍名

モンゴル人には珍名が多いということをご存知の方は少ないのではないだろうか。話し手が初めてモンゴルに行ったとき、行った先の工場にネグレイ君という工員がいた。ネグレイとは「名前が無い」という名前だったのだ。あとで調べてみたらフンビシュ「人でない」、ヘンチビシュ「誰でもない」、ノホイ「犬」、ホモール「馬の糞」、ショースマー「悪魔」などなど、日本では悪魔と名付けようとして世間を騒がせた人がいたが。むかしモンゴルでは乳幼児の死亡率が非常に高く、これは悪霊が子供に取り付くため、悪霊も取り付けない

ような名前にしてやろうと、こんな名前が付けられることになったと聞いた。

4 モンゴルの風呂事情

ウランバートルは全人口の約4分の1が集中している都市で、4つの火力発電所で余熱を使ってできた湯を全市に給湯している。しかし、末端に来るまでに冷めてしまうため一部発電所に近いところを除いて熱い湯は期待できないのが実状だった。

風呂好きなわれわれ日本人はモンゴルに行くときは、その覚悟が必要だろう。

(記録)

懐かしの映画音楽

-1950～1960年代の外国映画音楽-

話し手 立川 富美代

司会 大高 秀夫

1950～1960年は私たちの青春、胸おどらせた映画、小説とちがって、その記憶が目にはっきりと浮かび上がってくると思う。記憶が名作の思い出を今によみがえらせ、そのシーンの音楽と共に胸を暖める。その様な思い出なつかしい映画の音楽を皆様とともに聞きしましょう。

着席するまでのBGMにライムライトから「エターナリー」を聞いて頂いた。映画評論家の淀川長治さんが尤も愛されたチャップリンの名作だ。(チャップリン、クレアブルーム主演)

私は永遠にあなたを愛します。真実の愛をいつまでも というフレーズは日本でも大変ヒットした。

【ラブストーリー】から

旅情 「サマータイム イン ヴェニス」

アメリカのハイミスがヴェニスにバカンスにきて起きる恋物語、VTRと共に音楽を聞く。

ロッサノ・ブラッツィ、キャサリン・ヘップバーン主演

慕情 「ラブ イズ メニー スプレンドアドシング」

香港を舞台として、朝鮮戦争によって引き裂かれる悲恋物語、VTRと共に音楽を聞く。

ジョセフ・コットン、ジェニファージョーンズ主演

風と共に去りぬ 「ララのテーマ」

南北戦争による荒廃と混乱の中から激しく火の様に生きたスカーレット。4時間の超大作である。

VTRと共に音楽を聞く。クラーク・ゲーブル、ヴィヴィアンリー主演

【サスペンス】から

第三の男 「第三の男」 アントン・カラスのチターの演奏

ウイーンを舞台に、小説作家の友人の死に不審をいただき、究明をはじめが死に追いつめることになる。

VTRと共に音楽を聞く。ジョセフ・コットン、オーソン・ウエルズ、アリダ・ヴァリ主演

太陽がいっぱい 「太陽がいっぱい」

貧乏な男が、金持ちの息子を金をもらってアメリカに連れ戻す仕事を始めるが、2人がホモになり、コンプレックスが殺意に変わる。VTRと共に音楽を聞く。

アラン・ドロン、モーリス・ロネ主演

【ウェスタン】から

黄色いリボン 「黄色いリボン」

退役近い老中尉が40年軍隊生活にわかれを告げる時が近いが、またインディアンとの戦いで成功した続ける。VTRと共に音楽を聞く。

ジョン・ウエイン主演

シエーン 「はるかなる山の呼び声」

シエーン カム バック のセリフは大変ヒットし、雪村いづみの歌った主題歌もヒットする。

アラン・ラッド、ジーン・アーサー主演

【ミュージカル】から

ウエストサイド物語 「トゥナイト」

マイ フェア レディ 「運がよけりゃ」 音楽を聞く

サウンド オブ ミュージック 「ドレミの歌」

【ヒューマンドラマ】から

エデンの東 「エデンの東」

禁じられた遊び 「愛のロマンス」 ナルシソ・イエペスのギター音楽を聞く。

哀愁 「別れのワルツ」

ロンドン、ウオーターロー・ブリッジの上で24年前を思い出す大佐、第一次世界大戦のおり、そこで知合い愛したマイラ、2人で踊ったキャンドルクラブの蛍のひかり、大変ヒットした。

ロバート・テイラー、ヴィヴィアン・リー主演

「別れのワルツ」を聞きながら閉講となった。

(記録)

絵を描く楽しみ

話し手 吉田 信夫
司会 石井 充

絵3点、絵画の写真10枚位、デルフト焼きの絵皿などお持ちになる。パンフレットの配布もあり、盛り沢山の教材である。習い始めの作品「津久井湖」の油絵が展示される。

1 描く楽しみ

技術は未熟でも絵を描く情熱は強かった。描く楽しみはキャンバス上によく描けたと思えた時はうれしい。それに描く事に没頭でき景色に対して別な角度から楽しめる。特に景色などは1~2週間で木々の色など変化したり、町の景色を描くときは、看板、建物など描き上がる前に変化し戸惑うこともある。写生中の人とのお話も楽しいもの、描き続けているともっと自分なりの欲求が出来、それがあつた時、開眼したかのように変化した時はとても嬉しい。

2 見る楽しみ

当然美術館にも行く事が多くなり、鑑賞の他、逸話歴史などにも関心が強くなる。例えば、オランダ美術館に有名なレンブラントの「夜警」が展示、記念にデルフト焼きの「夜警」の絵皿を家に飾ってみる。ゴッホ美術館の黄色を主とした数々の作品、特に「ひまわり」の絵が4~5点展示されていたのにはビックリした。シカゴでのピカソが展示された美術館では若年頃の具象画が、21才頃は「青の時代」にと絵の様式が変化したのには強い印象を受けた。イタリアのミラノではダビンチの「最後の晩餐」を見たいと思い、帰国の寸前にサンタ・マリア修道院でやっとの思いで憧れの絵に逢うことができた。ルーブル美術館ではそのスケールの大きさに目を見張り、「モナリザ」「ミロのビーナス」が自然に陳列されていたのに感動した。

日本の美術館にも触れ、東京にはたくさんあるが、八王子の村内美術館にはバルビゾン派のミレー、コローなどの作品が多い。小島善太郎の絵の多い青梅の美術館、収蔵品2万5千点といわれ、イベント展示も積極的な富士美術館、……なども紹介された。

3 自分の作品を見てもらう楽しみ

自宅がミニギャラリーになり、玄関、居間などを占領、また、近所のお店、床屋さんに飾らせてもらい、絵の話に花が咲く。更に仲間と展覧会出品によりマンネリ化を防ぐ。個人出品、グループ出展などの企画、運営なども楽しいものである。

4 絵を継続させるには

好きである事、グループに参加、良き先生につく、絵から興味の範囲を広げる、他人に見てもらうため発表するチャンスを持つ、思いついたらすぐ・・・早いうちに始める。などのアドバイスがあつた。

初めに戻るが、話し手の油絵を描くきっかけは15年前、八王子そごうの読売文化センター開館と同時の油絵教室に参加したのが始まりだそう。それから良き先生は勿論だが、積極的に自分の絵の批評をして頂き上達を志す、基本もよく身につける様勉強し継続する事が肝要・・・写真、陶器など拝見し、具体的な作品を目にし、楽しい一時だった。何よりも話し手の絵画に対する情熱、それが温かく私共にも伝わってきた。人生に対する前向きな姿勢がとけあつて、絵に対する関心度を引き出して下さる雰囲気を感じた。

ここに大変参考になるお話を追加させて頂く。美術館に絵を見に行く時、期間中早めの午前中などのウィークデーに行く。カタログなどで観たい絵を調べておき、その絵を最初に観る、イヤフォンガイドを借り、聞き

ながら観る、出口にパンフレットがあるなら求めて見て、ピックアップして観たい作品を再度戻って観る。

(記録 古川 純香)

あなたの好きなベスト3映画は

話し手 黒沢 満 司会 北原 満夫

特にテーマにこだわらず、最初から映画に関する質疑応答の形で始まった。

1 アメリカ人の映画感

アメリカ人は映画に対して大変理解があり、また大変映画好きである。例えば日本では映画のロケなどで道路使用に対して、何かとクレームが多い。警察は許可はしても、早く事なく終了する様指導するのが常である。アメリカでは警察も一般も映画製作に理解があり大変協力的である。例えば、道路使用に際しても警察が積極的に協力してくれるし、一般からは別荘なども大変借りやすい。

2 アメリカでは映画は国家事業

日本と異なりアメリカ映画は自由だけでなく、全世界をターゲットとして製作されるので、制作費の額も大きくとれ、スケールの大きい映画の製作ができる。日本の政治家は映画に関心を示さないので国家事業とまではないが、アメリカでは映画をうまく利用している面が多い。

例えば ジェームス・ディーン ジーンズ
 ヘップバーン ドレス

などは映画による宣伝効果の最たるものである。

3 映画に出てくる小道具は本物？

お茶の道具、掛け軸、絵など物によっては本物に近い物を使用する場合もあるが、一般的にはあまり高い物は使用していない。

4 昔の女優は美人揃い

昔は美人女優が主役をとり、人気があった。最近の女優は、マスコミに乗って売れた人が主役をとり人気がある。必ずしも美人でない人の方が多い。

5 その他

- ・チャンバラ映画で血しぶきの出るシーンは『椿三十郎』が始まりである。
- ・アジアの映画が最近見直されてきている。
- ・最近日本映画(アニメ)がアメリカでも大ヒットしている。
- ・日本的なストーリーもの(『二十四の瞳』など)は世界に通用しない。
- ・日本映画はフランス映画のテンポと似ているが、アメリカ人のテンポに合わないので売れない。
- ・映画と音楽がマッチしたものは 『ザ・サードマン』等
- ・将来成長するだろうと思う人は、楽しみな人は？

女優 中谷みき
 男優 キムタク(本格的に映画をやれば)
 監督 周防監督 『シャル ウィ ダンス』
 伊丹十三 『オーソドックス』
 ビートタケシ 『ひらめきの人』

等々、テーマとは少々かけ離れた感はしたが、映画の色々な角度からの語り合いがなされ、楽しい一時であった。

(記録)

野鳥の話

話し手 土井 俊玄

司会 大山 泰

1 野鳥の概略

野性の鳥で、カナリヤ、文鳥のように何世代にもわたって人工飼育、繁殖のできる鳥でないこと。日本で見られる野鳥は、日本野鳥の会発行の『フィールドガイド 日本の野鳥』によると、渡り鳥を含めて505種が認められる。日本はアジア大陸の東端に位置し南北に長いので、渡り鳥の数も多い。

2 飼育する野鳥について

ここで話す野鳥は、スズメ目に属する鳥で、大きさもスズメ位のものであり、その中でも極く一部の野鳥についてである。昔から鳴き声や容姿の美しさで人々に愛された野鳥であり、ヒバリ、ミソサザイ、コマドリ、ウグイス、キビタキ、オオルリ、メジロ、ホウジロ等々。

〈録音テープで、鳴き声を聞きながら話をすすめる。途中質問もある〉

①ウグイス ②ヒバリ ③ミソサザイ ④コマドリ ⑤キビタキ ⑥エナガ ⑦ヒヨドリ ⑧メジロ

Q：桜の写真にメジロが写っていることが多いが 桜が好きなのだろうか？

A：桜の蜜が原因。 椿には蜜が多いので、椿林にはメジロが多く集まる。

3 飼育について

自然のエサから人工のエサに慣れさせなければ飼育はできない。

昔から、すりえの基本は米糠 上新粉、黄粉、ふな粉の混合と小松菜の様な野菜類を細かくすりつぶして、毎朝与える。1回でも忘れると死ぬため、手間のかかることで、だれにでもできることではない。その他、鳥籠、水浴と清掃、特殊な鳴かせ方等にも話が及んだ。

その後質問や話し合いが活発に行なわれた。

「小鳥が鳴くのは、人間のような感情の表現か？」「鳥籠はほとんど竹ヒゴを使うが、その理由？」「飼育ではなく鳥を寄せたいが、その方法は？」「飼育している鳥に卵黄やトマトを与えると羽根の色が変わるのか？」などの質問が出され、話し手より回答があった。

また、鳥に関して次のような経験談や意見が出された。

追分辺で、ヒレンジャクが2~30羽電線に止まっているのを見た。水無瀬橋、鶴巻橋、横川辺の川原等でカワセミを見た。シジュウカラは、ラードが好きだとか、ウグイスも同様だ。ムクドリが来て、ふん害で困っている。市街地の樹木にハクセキレイの大群が集まりねぐらにしている。マンションの雨の降らない場所に、タカの仲間の鳥が巣作りをしている。高尾の野鳥博物館はよくできており大変参考になる、など。

(記録)

野 球 今 昔

話し手 岩岡 茂之
司 会 山下 安雄

明治10年(1877年)、鉄道局員であった平岡氏が車輛製造の勉強を終え、米国より帰国した際持ち帰ったのが[日本野球]の起源だといわれている。同氏の発案で初の野球チーム[新橋クラブ]が誕生、2年後には[徳川クラブ]も生まれた。

明治15年(1872年)、芝浦寄りに芝生を植えた本格的なグラウンドが作られ[新橋クラブ]の本拠となった。その後、主流となった学生チームの殆んどが、[新橋クラブ]に手ほどきを受けたと言われている。

学校チームの初期は一高の黄金時代が続いたが、明治37年(1904年)、早、慶が台頭してこれを破り、無敵だった早稲田は翌年日露戦争であったが渡米し、服装面、用具面その他、沢山の土産を持って帰国、従来の原始的な“勢”と“力”の野球から、“理性”と“頭”の野球への転換をもたらした。

応援団の過熱から明治39年(1906年)から約20年間中止されていた早慶戦も、明大、法大、立大、帝大、の参加で結成された東京六大学野球連盟の誕生に伴い大正14年(1925年)に復活し、その後このリーグが日本野球の中心となった。

大正9年(1920年)初のプロ球団(日本運動協会)が生まれたが、関東大震災で解散に追い込まれ、昭和11年(1936年)日本職業野球連盟が発足するまでは陽の目をみなかった。当初は球場も神宮は使用出来ず、州崎球場を使用し、選手交替の速さを売り物にした。

(当時のチーム) 関東—東京巨人軍・セネターズ・イーグルス・大東京

関西—大阪タイガース・阪急軍・名古屋金鯱軍・近畿グレートリングス

昭和25年(1950年)セ・パ両リーグが発足。これが契機となってプロとアマの人气が逆転することになった。

上記の経緯のほか、次の事項の説明が行なわれた。

- ①大新聞社と野球の関わりについて
- ②プロ野球創生期の個性的な選手の横顔について
- ③コーチャーの役目について
- ④サインに関する動作、方法について
- ⑤ストライク・ゾーンについて
- ⑥審判の役目と試合停止球について
- ⑦野球に関連した用語の変遷について

(記録)

横浜開港と中居屋重兵衛

話し手 宮崎 浩平
司会 中野 義光

中居屋重兵衛は横浜開港の時代、きわめて短い期間に巨富を積み、歴史の彼方に慌ただしく駆け去ってしまった幻の人物である。そして、その伝記の細部も、その死の真相もわかっていない。

横浜商人として活躍した期間もわずか2年程度であるが今でも横浜開港の先駆者といわれ、横浜市の功労者にあげられるのは、商いにより、横浜開港時の繁栄の礎を築いたことによる。

彼は文政3年(1820年)3月、上州吾妻郡中居村(今の群馬県吾妻郡嬭恋村三原)の庄屋の家に生まれた。若くして江戸に出て、佐久間象山、江川太郎左衛門、高島秋帆、伊東玄朴などに砲薬や蘭学を学んだ。

江戸では縁故先の和泉屋の手代として商売のやり方を身に付け、嘉永2年(1849年)、江戸日本橋に店を持ち独立、書籍、和菓、唐菓を扱い、後に火薬の製造販売を行い大成した。当時は、諸外国からの開港を迫られ、尊皇攘夷、佐幕開国が渦巻いていた。嘉永6年(1853年)ペリーが浦賀に来航、安政5年(1858年)日米修好条約が調印、その翌年横浜は開港場となった。

佐久間象山の影響を受けた重兵衛は開国の思想を持っており、外国人相手に商人としての活躍の場があった。重兵衛は開港した横浜の本町通りに三井よりも大きい店を構え、塗物、生糸、石炭、油、織物など外国人相手の百貨店のような雑貨商を営んだ。しかも、その頃中国の太平天国の乱で中国からの生糸の輸出が止まると日本産がひっぱりだことなった。重兵衛はそれを機に、本格的に生糸輸出に取り組み、大きな富を築き、横浜を繁栄に導いた。

横浜出店の華麗さと比べると、重兵衛の退場ぶりは誠にあっけない。出身地の上州を中心に関東一円の生糸を取り扱って大きい利益を得た、とされている重兵衛は横浜進出の2年目に輸出禁止品の銅を外国人に売ったとの理由により幕府に捕らわれ、財産を没収された。しかし、これは表面上のことで、実際は万延元年(1860年)の水戸浪士による桜田門外の変などに関係していたからであるといわれる。

また、万延元年に出された「五品江戸廻し令」は、地方商人、横浜商人、外国商人の猛抵抗にあい、幕府と江戸商人の敗北に終わったが、重兵衛は、横浜豪商の一員として、激しく幕府に抗議したと思われる。その為、幕府ににらまれたのではないかと言う説もある。

重兵衛は幕府の手に追われ、元治元年(1864年)8月2日、42才で謎の死をとげる。幕府の必要以上の追及は密貿易程度のことではなく、何かやったのではという推測が生まれてくる。また、横浜の中居屋の店舗は大火で消失したという資料がある。このように中居屋重兵衛は華やかに歴史の表舞台に登場し、あっという間に消え去った横浜開港時の立役者であった。

(記録)

宝塚よもやま話

話し手 清水 英雄

司会 平原 俊彦

宝塚誕生については先の講話『華麗なる宝塚』ですでに述べたので、ここではその宝塚歌劇を受け入れた、当時の日本の文化を見てみよう。

1 オペラ

明治27年、外人によるグノー『ファウスト』が日本最初のオペラ。明治38年、三浦環らでグルック『オルフェウス』。山田耕作らの創作オペラも明治末期に生まれる。明治44年帝劇オペラ、イタリア人ローシーにより『魔笛』など上演するが観客の好み、歌手の力量などからオペレッタへ移行。帝劇オペラ解散、ローシーが去った後、浅草オペラへと花開く。帝劇で学んだ岸田辰弥、原田等で宝塚の専属作家として迎えられる。

2 少年音楽隊

明治42年の三越をきっかけに各地で少年音楽隊が生まれる。ここで学んだ少年達が後の新響(現N響)の礎となる。

3 演劇

明治39年の坪内逍遙の文芸協会から別れた島村抱月の芸術座。大正3年『復活』の主題歌『カチューシャの唄』(中山晋平曲)を松井須磨子が歌って大流行。洋旋律の歌のヒット第一号となる。

4 舞踊

山田耕作と組んだ石井漠、アメリカ帰りの高田せい子、高木徳子らによる創作舞踊が盛んになり新風を起こす。

5 その他

外国航路の楽員から欧米のダンス、ジャズなどが移入される。軍楽隊や映画(無声館)の楽士達により、セミクラシックなど洋楽が身近になる。唱歌による音楽教育も定着。

そして大正ロマンと言われるハイカラ・ブームなどの要素があり、宝塚歌劇を受け入れる素地が当時の日本には充分あった。欧州帰りの岸田辰弥が放った日本初のレビュー『モンパリ』の成功は、浅草にオペラに代わるカーヂュ・ド・フォリーなどのレビューを生むきっかけになった。

(では、これから宝塚で生れ、ヒットした歌を聞いてみよう)。

*テープI

「モンパリ」 上演当時、昭和2年奈良美也の歌で。

「コンスターチノープル」 昭和5年の白井鉄造レビュー『パリゼット』から生れた『おお宝塚』は実はこの曲が原曲。昭和3年のポール・ホワイトマン楽団でヒットした。

「モン・パンパ」 エノケンやロッパでおなじみ、昭和6年の白井レビュー『ローズ・パリ』から三浦時子と番組生徒。この歌のヒットで翌年これを主題歌にした『ミルトンの巴里っ子』が封切られた。

当時はあちらのレビューや映画からどんどん採り入れて使ったが、その早さに驚く。『会議は踊る』のメロディの「そは夢か」は日本封切の2年も前に使われているが、これは白井鉄造がフランス版で見たのだと思う。無声映画の頃は字幕だけ替えればどこの国でも上映できたが、トーキーになるとそうは行かない。

『嘆きの天使』が日本で封切られたのは英語版だった。『会議は踊る』のフランス版はリリアン・ハーヴェイはそのままだったがウィリー・ウリッチュの代わりにアルベール・プレジャンが演じていた。当時はこうした曲のクレジットが無く、私が『宝塚大全集』を編んだ時、原曲探しに苦労した。

* テープⅡ

「花占い」 白井レビュー『サルタンバンク』（昭和7年から明津麗子と雪組生徒。原曲はアーヴィング・バーリンの“I can't do without you”）

「野すみれ」 昭和9年同名の白井レビューから三條宮子と生徒たち。お聞きの通りブリチルの『ローズマリー』の主題歌が原曲。

「雲間の吊橋」 昭和15年『サイエンス・ショー』から、終戦の年に戦災で亡くなった糸井しだれと雪組生徒。これが日本で初めてお目見得した“Over the rainbow”だ。これを主題歌にした『オズの魔法使い』日本で封切られたのは戦後になってからだった。

（この辺で戦後の作品を聞いてみよう）

* テープⅢ

「いかだ流し」 昭和21年の『夏のおどり』から勿論、越路吹雪。

「花を召しませ」 今度は乙羽信子、昭和24年の『ロマンス・パリ』から。

「いつまでも」 有馬稲子と南風洋子、昭和25年の『春風の接吻』から。

「幸福を売る人」 寿美花代と榎克己、昭和35年芸術祭賞に輝いた『華麗なる4』から。宝塚主題歌初のステレオ鑑音、原曲はシャンソン。

「タカラジェンヌに乾杯」 昭和41年同名のレビューから、真帆志ぶき。

「ブルージーンと皮ジャンパー」 昭和 年の『エスカイア・ガールズ』からマルの愛称で人気のあった那智わたる、アダモよりスローテンポで歌っている。

「愛の歌」 淀かほる。白井レビューの大作『皇帝と魔女』（昭和37年）から。

「別れの歌」 明石照子と新珠三千代、昭和 年の『ひめゆりの塔』から。菊田一夫の作演出。

皆様のリクエストを交えながらトップスターを中心に聞いて頂いた。

（記録 ）

舞 台 と 茶 道

話し手 古川 純香

司 会 野末 孝雄

会議室にビデオが用意される。話し手は過去20年間に演じた茶芸の数々の中からピックアップしたビデオを、更に1時間分に短く編集したとのこと。従ってカットが多くその点ご了承下さいと述べる。

製作、指導は話し手、出演者はお弟子さん達。ビデオが始まり上演された時や場所など説明あり。

- ①ティーブレイク 野掩 1982年11月 話し手の郷里・宮城県古川市市民会館
- ②文雅の友(日、韓、中、国際茶道大会にて) 1988年5月 パルテノン多摩
- ③五行 1988年5月 仙台市ガーデンパレス
- ④師弟(歴史の中で遊ぶ) 1990年10月 北浦和・廓信寺
- ⑤五行 菊の宴、ティーセラピー 1992年10月 新宿・東長寺
- ⑥異風同心(日、韓、中、国際茶道大会及び清泉幽茗隆周年大会) 東京明治記念館
- ⑦献花、献茶禮
- ⑧花酒の宴 1999年1月 東京プレジデントホテル青山

など・・・次々と放映される。

各々のタイトルにマッチした音楽、演奏(尺八、詩吟、長唄、シタール)もあり、江戸時代、明治時代のドラマではその時代に合った舞台装置、衣裳、カツラメイクなどセリフがあるもの、舞踊的な出し物などまさに舞台芸であった。

数々の質問の中から、この様な茶芸は他の流派でもあるのかの質問に「他では聞いていません、恐らく初めてでは・・・」との答え。

話し手の説明をまとめてみると

- ・茶道活動を続けていると、お茶のお手前が昇華され、手足等の動きに演劇的要素が多いと感じる。
- ・外国との茶道交流、国内での会合などで舞台を使う事が多く、必然的にインパクトの強いお茶が必要になってきた。
- ・もともと煎茶道は多面的要素があり舞台化がしやすい。歴史上でも茶道は室内芸能と言われ、茶道なども一つの舞台芸とも言える。舞台装置の大道具(棚、お軸、お花・・・)、小道具(お手前に必要なお茶碗、急須、茶入・・・)。それらが活躍する空間としての茶室、和室、洋室、野外、演者はお手前する人、お客は見物客、後見はナレーター、演出家と言える。この茶会をもっと強くアピールしたものが茶芸とも言える。娯楽性は必要であるが茶道の持つ独自性も崩してはいけない。求められる条件は多いが茶芸は二十一世紀に向かって明るい展望があると思う。

最後に「お茶をもっと広く考えてもらいたい」と言う言葉で終了した。

(記録)

くらしの中の色彩

話し手 石井 充
司会 吉田 信夫

我々の生活には色彩の氾濫が起っている。一番、目につくのは赤色である。毎日見る広告の色は圧倒的に赤が多い。また、赤は目立つから使われる。例えばコカコーラ、銀行(東海、三菱、安田信託、住友、あさひ)、香港の街も赤・黄が多い。赤色は褪せることも速く、又はげること多い。初めは鮮やかな赤をしているが変色しトラブルを起こすこともある。

赤色を使った国旗も多く、赤・白2色が一番単純であり、3色の旗も数多いが、5色以上になると極く稀である。色の数が多くなると印象は薄くなる。

赤もいろいろあって、パリのエッフェル塔などは黒錆の色をしており、東京タワーはサビ止めと高度規制から、赤と白の太い縞の線を使い上から下まで同じである。

さて、色には上品、下品さがあるだろうか。イギリスではロイヤル××××と名付けている色もあり、ロイヤルレッド、ロイヤルイエロー、ロイヤルブルー等の名称を使っている。日本では黄櫨色を陛下即位の時、そのお召物に、高貴な色調として使うが、日本人の色感の極みとも言える美しさがある。5色(赤・白・黄・青・黒)が生活に浸み込んでいる。

現代生活と色の関係は密接であり、家の中に目をやると壁、天井で最も多い色はアイボリーと茶色が主体で雰囲気や和らげるためであり、やさしさがあるが自己主張が弱いとされている。

電気器具の色も白、アイボリーが多かったが、最近は緑・茶系の中間色に変わって来た。車もメタリック調が増え、他人が持たない色を望む傾向になりつつある。また、ライトブルーは神経を安めるということから、刑務所などの室内はブルーかライトブルーである。

平素生活している中で余りに留めない色という事に対し、いろいろな角度からの見方について解説があり、再認識させられた。

(記録)

カリフォルニアの風土と生活

話し手 田子 稔
司会 北原 満雄

1 州は国家なり

アメリカ合衆国は州に行政権限が集中しており、独立国家の様相を呈している。カリフォルニアも同じように独自の行政をおこなっている。人口は3,200万人、面積は日本より大きい。人種は白人60%、黒人7.4%、アジア系9.6%、ヒスパニック25.8%と多民族から構成されている。

2 カリフォルニアの歴史

1846年：アメリカがメキシコとの戦争で勝ちカリフォルニアを手に入れる
1849年：ゴールドラッシュ始まり10万人の山師がカリフォルニアに上陸
1850年：カリフォルニアが第31番目の州に昇格
1937年：大陸横断鉄道完成
1937年：ゴールデンゲート・ブリッジ完成

3 気候

太平洋を流れる暖流と寒流が重なる地域で温暖なバランスのとれた気候の地域である。北のサンフランシスコは水が豊富、一方南のロサンゼルスは乾燥した地域で水はコロラド州より引いている。

4 都市

州都はサクラメント(38万人)、ロサンゼルス(355万人)、サンディエゴ(117万人)、サンノゼ(84万人)、サンフランシスコ(74万人)等の都市がある。

5 産業

農業は全米一。また、航空宇宙産業、コンピュータ産業等が盛んである。
農業：オレンジ、グレープフルーツ、ナパバレーのワインなど
コンピュータ：シリコンバレーのマイクロソフト、アップルなどが有名

6 国立公園

ヨセミテ、キングズキャニオンは渓谷美で知られ、ラッセンは火山で、セコイアはセコイアの巨木で有名な国立公園である。

7 住居

米国のマンションはプールや車寄せのある大邸宅である。コンドミニアムが日本のマンションに相当する。一戸建ての住居の価格は安く、2,000万円で日本の3倍の土地と建物を買うことが出来る。

8 大学

スタンフォード大、カリフォルニア大を初め180以上の大学がある。
入学は易しいが、卒業は難しい。私立学校の授業料は高い。

9 結婚・離婚

結婚は神との契約。2組に1組は離婚しており、親無し家庭が多い。

(記録)

オペラはこんなに楽しい

話し手 石田 雅巳
司会 立川 富美代

1 オペラの始まり

ルネッサンス活動が盛んだったフィレンツェのバルディ伯爵邸でカメラータ(集まり)がギリシャ芸術を模範とし、中世以来の音楽を改革しようとした。

- ・世界最初のオペラ ペーリ&一部カッチーニ作曲「エウリディーチェ」

1600年10月6日 フィレンツェ ピッティ宮殿

フランスのアンリ4世とメディチ家のマリーアとの結婚祝賀として上演

- ・インテルメディオ(幕間劇)

当時の演劇には場面の終わりに幕を下ろす習慣が無かったので、区切りを付けるために、幕間に音楽を聞かせたり芝居に無関係な演芸を見せた。形は自由だったが次第に派手になり劇的に構成したり、大勢の合唱や舞踊、楽器を加え、大がかりな舞台装置や機械仕掛けを使い、遂にもとの演劇とは別にこれだけを単独で上演することが多くなった。これがオペラに発展した。

- ・ヴェネチア楽派

モンテヴェルディを中心に発展。

「オルフェオ」(1907)は今に残る大傑作(全曲映像もあり)

次第に大衆に広まり、ヴェネチアで最初の公衆歌劇場が出来た。

- ・ナポリ楽派

ナポリ派は歌手とアリアがすべて。歌劇場は社交場となり、お目当ての歌手の時だけ舞台に注目、それ以外はシャーベットを食べていた。(シャーベット・アリア)

- ・カストラート

中世カトリック教会が徹底的に女性を排除し、聖歌隊にも参加させず女声パートを少年で代表させたため。ローマ教皇庁聖歌隊に1601年に正式に採用されたのが始まり。

ナポリのカストラートは、17世紀を通じて大流行した。現在のカウンターテナーはファルセット(裏声を強化したもの)。

- ・イタリアからヨーロッパに広まる

軍事的勝者としてイタリアに侵攻した諸国も絢爛たるイタリア・ルネッサンス文化に脱帽、美術や音楽を自国に輸入、17世紀後半以後、急速にヨーロッパに伝播。

2 世界への発展

[オーストラリア] 特にウィーンでイタリアオペラ全盛。グルック(1714~1784)の改革

[ドイツ] 最初の民族オペラ: ウェーバー「魔弾の射手」(1821)

[フランス・イギリス] バレエ・マスク(仮面劇)を基礎としてオペラが発展

[ロシア] オペラ後進国だったが、エカテリーナ二世はイタリア音楽界との交流に努力した。

19世紀にはフランス文化に転じたが、格林カ、ムソルグスキーらの国民楽派がロシア本来の音楽を発展させた。

[オペラの大発展] ウィーン会議から第1次世界大戦までの百年、産業革命・照明技術の発達向上が大きな影響、ウィーンの劇場に初めて電気照明

[オペラ史の三大改革者] モンテヴェルディ(17世紀)、グルック(18世紀)、ワグナー(19世紀)

[日本のオペラ] - 映像と共に

明治44年：帝国劇場開設 歌劇部 幼稚な活動

大正～ ：帝劇が振付師ローシーを招きオペレッタ中心に公演するも失敗

昭和9年 山田耕作が日本楽劇協会設立 ラジオによる啓蒙(放送歌劇)

昭和4年：歌舞伎とともに坪内逍遙作、山田耕作作曲「墮ちたる天使」

昭和5年：日本楽劇教会「椿姫」藤原、関谷敏子「お蝶夫人」松平里子

昭和8年：カプリ歌劇団「ルチア」関種子

昭和9年：藤原義江歌劇団第一回公演 ポエーム 日比谷公会堂

昭和16年：新交響楽団(現N響「フィガロの結婚」 演奏会形式

昭和21年：長門美保歌劇団第一回公演「蝶々夫人」

昭和27年：二期会第一回公演「ポエーム」 日比谷公会堂

昭和31年：この年(1956年)から始まったイタリアオペラや昭和42年(1967年)の
パイロイトオペラ引越し公演は日本のオペラ史に大きな足跡を残した。

3 世界の主要オペラ劇場

ビデオによる紹介

4 世界の主要オペラ

有名シーン・アリアのビデオ(歴史的歌手)による紹介

(記録)

自分にとっての人生最後の言葉とは

話し手 近藤 泰雲

司会 野口 正久

始めに司会者から「話し手はサラリーマンから転身、得度の後僧侶になられる…」等の紹介があった。法衣姿の話し手から「今日は私のみ話すのではなく皆さんからのお話しなど…」との呼びかけがあり、プリントの配布もあった。語り合いの前に合掌を一同で何回か行なう。

話し手からのすすめで出席者から意見が出る。

—「車で交通事故に会う、瞬間意識不明になる。意識が戻った時自分が火に焼かれる場面を想像しぞっとする…」

—死ぬ事よりそれまでの闘病、特に癌などで苦しむ。それが恐いと男性の意見、安楽死、ホスピスなどの話題も出る。

—死は誰でもやってくる。死に行く人はお先に、と残る人々を慰める積もりで言う。あの世でまた会いましょう、の言葉を残したい。」

—長年共に暮らした姑さんから「お世話になりました。有難う」と云われた。

参加者一同切実な問題ながらその前の病気の壁の方が恐く最後の言葉まで距離感がある。それ故今回のタイトルは意義深いものと思える。

熱いコーヒーをいただきながら一人一人感慨を抱いている様に見える。

意見交換の後、刷り物を皆で読み合う。

話し手は年齢的にも死の迎えが来てもよい、イメージトレーニングとして何か一言云い残す言葉を用意しては…と仰る。動物の中でも猫、象など死期近づくと群れから離れた所で息を引き取る、と云われている。我々人間はどうであろうか。葬儀が終わり火葬場に行く。遺骨になる一時間位を親族と控室で待つ。その間遺族の話から最後まで意識があった、亡くなる二、三日前に意識が戻った、終わりまで意識不明…など病気によって異なる。言葉として「頑張ってね」「しっかりしてね」と励ましたとの事、私共一般にそうである。そうでなく遺族も「よく頑張ったね、お世話になったね、良い思い出を沢山有難う…」等が良いのではと話し手は力説する。意識があれば病人もその言葉に励まされ「今日あるのは皆さんのお陰です。有り難う。」と感謝する。そして浄土に旅立つ。ジメジメしないで明るく行きたいもの、聞いている一同はほのぼのとした念に包まれる。

参考資料として八木重吉の詩、佛道の先人達が残した言葉、など佛教用語であるが読み合う。

終わり頃、再び出席者の中からお姑さんを面倒見ていたが、死に近づいた頃「ほんとうにお世話になり有難う」とお嫁さんご本人に仰った。その言葉で今迄の苦勞が水に流れた…と涙ながらに仰って私共胸が熱くなる。

話し手は深い信心をお持ちである。その仏教の説く死生観が滲み出しておられる。平易な言葉でわかり易く私共に語って下さる。

手を合わせ合掌する心、全てに感謝する心、山川草木に愛を…むしろ元気な中の私共の生き方、心のあり方が人生最後の言葉にと集大成されるのだろう。今から家族、友人、知人でこの様なタイトルについて哲学も含まれているが語り合いイメージトレーニングも大切であると思った。

タイムアップと共に一同で話し手に続いて合掌、御手製の葉を頂戴し、終了した。

(記録)

自動カメラの上手な撮り方

話し手 下山 邦夫
司会 岡田 尚

よい写真を撮るには数多く写すことが基本である。一眼レフのカメラも自動コンパクトカメラも同じことが言えるが、自動カメラに絞って話をする。

旅の思い出、子供の学校、孫の七五三、日常生活の中の一駒など、人生の折ふしを写して保存する。心にとまった一瞬のイメージ、など多くの写真の中に必ずよいものがある。カメラでは事物を写すのだが、心にイメージを把握して撮ること。

1 よい写真を撮るポイント

- ①タイミングを大事に（場所を感じて・時代の香り・衝撃のシーン・ハットしたその時……）。
- ②美しさ（構図のおもしろさ・自然の美しさ・個性のある顔・光の演出）
- ③発見（視界を広げる）（出来事・ニュース・趣味を・追っかける、マイクロ、マクロの世界、地球を超えて〈コンパクトでは無理〉）

2 構図の原則（主題を強調するために）

- ①縦位置 高さ、奥行き、時間の流れ、去っていくもの…
- ②横位置 広がり、自然な感じ、説明…
- ③引き伸し 迫り感を増す。コンパクトではパノラマモードが手軽で安い。
- ④シンメトリ、フォトジェニック、リズム
- ⑤画竜点睛（点景を大切に）

一作例 上記について作例をOHPで写す。

3 ズームの注意

ズーム機能のついたカメラが増えた。ズーム使用で遠近感が誇張されたり、圧縮されるのを考慮すること。

4 画質を決めるもの

- ①明 暗：露出(光量の良否)
- ②色：色再現力
- ③鮮鋭さ：解像力
- ④ノイズ：粒状度

5 明暗・色を写す工夫

- ①逆光や影の中など、ファインダーに見えにくいものは写らない。
- ②明暗どちらかに偏っているものはさける。(完全逆光は無理)
- ③フラッシュで補正(自動発光のものもある)、周囲が暗く中が明るい場合、自動発光しないので、強制発光で。
- ④スポットモードの活用
- ⑤露出補正の活用
- ⑥プレフォーカスの活用

以上のような話の後、様々な質問があり、話し手より適切な解説がなされた。

主な質問内容

- ・マクロ撮影の場合の焦点 ・内蔵フラッシュの範囲 ・露出補正の仕方 ・フィルム感度と画質
- ・APSカメラについて ・目の色と赤目 ・レンズの明暗と得失 ・オートフォーカスでシャッターが切れない時の処置等々。

最後に、話し手より、カメラもデジタル化の方向に進んでいるが、現時点では、同じ画質の写真を撮るには、フィルムの方が低コストだという話があった。

(記録)